

第十二回 よのめたち俳句まつり

入選作品一覽

(選者) 鷹羽狩行 (公益社団法人俳人協会名誉会長)

(兼題) 春季雜詠

(掲出期間) 平成三十年三月十七日(土) ～ 四月十五日(日)

千光寺公園

主催／一般社団法人尾道観光協会 共催／尾道商工会議所

【一般の部】（投句数一二〇六句）

おのみち俳句大賞

大らかに響く鐘の音花吹雪

広島県福山市

榊原 素女

金賞

いくつもの寺を抱へて花の山

静岡県御殿場市

池谷 市江

銀賞

春光の中へ一気に滑り台

和歌山県和歌山市

中浴 智美

名乗り出るかに咲き競ふ山桜

広島県尾道市

大住元 法子

銅賞

車座のすぐに乱れて花筵

埼玉県羽生市

柴崎 加代子

花吹雪山懐にとどまらず

京都府綾部市

四方 禎治

天界へつづくかと思え花の坂

広島県東広島市

青木 遵子

尾道市長賞

出港の汽笛に応へ花吹雪

静岡県静岡市

高杉 光昭

尾道商工会議所会頭賞

幸せを振りまくさまに花吹雪

広島県福山市

藤田 かよ子

尾道観光協会会長賞

海賊の島眠らせて牡丹雪

愛媛県松前町

松田 洋一

入 選 【一般の部・名前順】

【あゝお】

異国語の会話早口花の宴
 花ふぶき一山を出て広がれり
 篝ひと爆ぜがきつけ花吹雪
 全山の花を一望ロープウエー
 挨拶は一口のあと桜餅
 柳絮とぶ見やう見まねの太極拳
 はんなりと路地の奥まで花明かり
 鐘の音にすこし遅れて花吹雪
 引売りの声春風に吹かれ来る
 花吹雪一步先ゆく父を追ふ
 良きことのありさうな旅初桜
 花筏まつさかさまに堰を落つ
 堰越ゆるたび組替はり花筏
 ぼんぼりに影の重たき八重桜
 貝寄風や二人で抜くる芙美子路地
 三日月を上げて古刹の糸ざくら
 花ふぶき声なき声の観世音

広島県 秋山 春川
 福岡県 粟屋 ゆう智
 神奈川県 池田 忠山
 広島県 石津 裕美
 広島県 石原 研
 東京都 伊藤 妙
 滋賀県 岩田 宣清
 鳥取県 岩水 節子
 岡山県 植田 桂之
 千葉県 内田 歩
 福岡県 内海 はるか
 埼玉県 梅田 ひろし
 東京都 江川 和彦
 岡山県 岡田 邦男
 広島県 尾熊 靖子
 東京都 小角 勝美
 岡山県 尾関 華陽

【かゝこ】

ひとひらのちるさくらにも祈りかな
 桜まじ渡船一気の人を吐く
 朝市の淡雪被る青菜買ふ
 花の坂ひよいと芙美子に逢へるかも
 朱の鳥居潜りてさくらさくらかな
 はんなりと風のかたちに花吹雪
 花ふぶき小鳥の声にうながされ
 海へ出て舵なきままに花筏
 日にほぐれ風にほぐれて桜かな
 夜櫻へ急ぐフェリーのはなやげる
 脇役の風が盛り上げ花吹雪
 振りむけば桜揚げば五重塔
 憲吉も愛でし古刹の坂の花
 頬紅を掃きたるやうに山桜
 ゴンドラの会うて離れて花の山
 旅人に群れて餌を乞ふ春鷗
 文学の小みち落花を背に肩に

【さゝそ】

夜ざくらや余韻ひろぐる船の笛
 花の雲眼下にしたる千光寺
 幼子の諸手で掬ふ花吹雪

広島県 巫 依子
 山口県 金澤 萬里
 山口県 金光 清美
 広島県 川村 朋子
 山口県 木嶋 政治
 広島県 木曾 昌子
 京都府 北川 たみ子
 和歌山県 北野 恵美子
 広島県 久保 紘子
 広島県 郷坪 敏幸
 広島県 廣本 貢一
 広島県 小土井 清和
 広島県 後藤 久
 広島県 後藤 弘子
 広島県 後藤 良雄
 広島県 小畑 宣之
 京都府 近藤 好廣
 広島県 榊原 越子
 広島県 佐々木 画鏡
 岡山県 佐藤 淳子

花の下場所取るといふ大仕事

はや声のおよばぬ高さ鶴帰る

花仰ぐ離れてひとり桜守

草餅や里に帰れば里なまり

鐘の音に遠まはりして花ふぶき

鐘の音の渡るさくらの月夜かな

百畳の奥の奥まで花明かり

【たくと】

弓なりの列車過ぎ行く遠霞

停泊の船の灯うるむ桜の夜

ゆるやかな波につまづき花筏

子の靴も服も真つさら初桜

たをやかに風と遊びて糸ざくら

ふところに神木抱き花の山

天楽の降るがごとくに飛花落花

花冷えや回廊きしむ千光寺

生れてすぐゆがみととのへ石鹼玉

山寺の一灯ともり夕ざくら

入相の鐘の余韻や花かがり

索道に添ふがごとくに花吹雪

ゆく先は誰にもつげず花ぐもり

広島県 実政 新三

東京都 新保 徳泰

広島県 杉原 美穂子

和歌山県 鈴木 憲一

広島県 鷺見 葦月

広島県 住田 保堂

埼玉県 関口 幹雄

広島県 峠 則数

広島県 高卯 石男

神奈川県 高野 知作

埼玉県 高橋 裕子

岡山県 高橋 睦子

和歌山県 滝本 昭次

埼玉県 田口 紅子

埼玉県 武井 猛

和歌山県 武友 朋子

東京都 竹中 義信

岡山県 竹本 孝

福島県 田島 秀雄

神奈川県 田中 喜美子

園児等の帽子ひとり花筵

坂道や振り返るたび桜増え

いくたびも組みてはほどけ花筏

竹林の葉のさやさやと春の風

割れ目にも春来てをりぬアスファルト

流水の速きに乗れり飛花落花

はねし尾の紅の濃ゆ桜鯛

老梅の夕闇寄せぬ白さかな

うららかや新造船の滑り出す

今か今かと飛ぶを待ち絮たんぽぽ

【なくの】

塩むすびリュックにひとつ桜狩

糸桜二畳一間のにじり口

春浅し坂駆け上がる郵便夫

出前には花の見頃も書き添へて

花冷えの線路くぐればラーメン屋

尾道の鐘の音海へ夕ざくら

にぎやかな園児の声や春きざす

【はくほ】

モーニングコールは庭の百千鳥

広島県 谷口 一好

広島県 田村 祐巳子

神奈川県 塚本 治彦

神奈川県 辻 俊子

広島県 土屋 康治

岡山県 堤 幸彦

兵庫県 常澤 あつ子

広島県 道管 麗子

広島県 歳谷 美智子

東京都 友田 しげを

広島県 名賀 孝恵

広島県 名賀 昇

埼玉県 中澤 泰三

千葉県 中村 智善

広島県 西田 實雄

静岡県 二藤 覺

東京都 根本 國男

愛媛県 長谷川 雅男

どの路地も海へ開けて若布干す

広島県 林 すみ

花ふぶき幌上げてゆく乳母車

岡山県 原田 慶子

鯉の背に崩れまた組む花筏

広島県 原田 道枝

春暁や汽笛に明ける港町

千葉県 春山 武雄

春潮の寄せては返す潮仏

広島県 平井 清香

花屑を割つて鯉の頭浮き上がり

広島県 福場 朋子

春風や祝詞を高く地鎮祭

広島県 藤井 博子

箱出でて寄り添ふ内裏雛の宵

神奈川県 藤田 ミチ子

春一番嬰はじめての靴をはき

三重県 藤原 紅

花の雨一山一寺しづもりぬ

静岡県 堀 和久

【まくも】

やうやくにしづけさ戻り花月夜

広島県 増田 輝子

石仏にささやくやうに落花かな

広島県 松井 多嘉子

尾道や見に来る人も桜守

広島県 松井 鶴子

いにしへの誇りを今に老桜

広島県 松本 壽賀子

鐘撞けば鐘の音にも花吹雪

東京都 水井 薫子

海峡を渡る落花の日をのせて

兵庫県 三宅 一城

瀬戸内の潮の香りや猫の恋

神奈川県 宮崎 清美

乗り来たる渡船に仰ぐ花の山

広島県 宮地 タマコ

金剛杖しばし休めて花の山

広島県 宮永 直美

尾道のゆるゆる暮るる春の海

広島県 向井 好美

篝火にゆらめくさくらや影もまた

愛媛県 村重 香霞

【やくよ】

花冷や武家の屋敷に筵部屋

岡山県 山県 章宏

由緒ある島から島へ花吹雪

広島県 山下 榮子

抗はず風にまかせて花吹雪

東京都 山田 敦子

杖に手を重ねて仰ぐ初ざくら

山口県 山本 礼以子

漂ひて名残りを惜しむ花筏

大阪府 吉野 幸治

華やぎを内に秘めたる寒桜

広島県 吉原 鹿

【わ】

鐘楼も伽藍も桜吹雪かな

東京都 若林 正人

風光る島から島へ斜張橋

広島県 若本 繁子

どの道を行くも坂道花吹雪

広島県 若本 鴻遊

【小中学校の部】（投句数二五〇三句）

特選

千光寺かいだんいっばいはないっばい
窓越しに授業受けているつばめの子
つくし出て背高のつばは六年生

入選

ざぶとんにちよこんとすわるおひなさま
さくらはねピンクのドレスきるんだ
つばめたちスピード出してどこ行くの
さくら散りわたしもあの子もかみかざり
かえるがねびよんとはねるぼくはねる
さくら散る風吹くように吹くように
風の子がいたずらしてる春一番
春風や草原一面おどってる
下校の子むかえるようにさくら散る
千光寺桜の海の中にある
渡船から見る尾道は桜色
海岸でねこの家族もお花見か
桜の木送り迎えの父のよう
おたまじゃくしぐいぐい泳ぎかくれんぼ
おのみちの風にさそわれ春が来る
風あればどこかかなたへ石鹼玉
筆箱の中身入れかえ春休み

尾道市立高須小学校 二年 吉村 斗和
尾道市立山波小学校 四年 片山 彩加
尾道市立吉和小学校 五年 中村 輝亮

福山市立広瀬小学校 一年 大木 飛呂彦
広島市立福木小学校 一年 椿 あおい
尾道市立西藤小学校 三年 石岡 りん
尾道市立吉和小学校 三年 新田 ゆい
尾道市立三成小学校 三年 ばば りん
尾道市立吉和小学校 四年 岡田 結衣
尾道市立土堂小学校 四年 松本 和華
柏崎市立半田小学校 五年 行田 稟
周南市立久米小学校 五年 藤井 琴子
尾道市立吉和小学校 五年 桃谷 真礼
尾道市立高須小学校 六年 佐藤 琉輝
尾道市立高須小学校 六年 野宮 風香
尾道市立高須小学校 六年 藤田 望
尾道市立向島中央小学校 六年 山本 譲汰朗
福山市立広瀬中学校 一年 森脇 凜
川越市立福原中学校 一年 後藤 麻也
川越市立福原中学校 一年 名取 詞音

学校賞

尾道市立高須小学校
尾道市立吉和小学校